

第57回全道へき地複式教育研究大会檜山大会を終えて

北海道教育庁檜山教育局長

新村 治



美しい日本海に面し、北海道で最も古くから開けた檜山の地において、全道各地から多数の参加者をお迎えし、第57回全道へき地複式教育研究大会檜山大会が、大きな成果をあげて終えることができましたことを嬉しく思っております。

また、北海道へき地・複式教育連盟におかれましては、組織的・継続的な研究を通して、全道におけるへき地・複式教育の充実・発展のために御尽力されてこられましたことに、心より敬意を表します。

さて、本年3月に新学習指導要領が告示され、各学校においては、完全実施に向け、円滑に移行できるよう、新学習指導要領の趣旨や内容、移行期間中の教育課程の編成・実施などについて、校長先生をはじめ、指導に当たられる先生方お一人お一人が理解を深められることが大切であります。また、「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成の実現に向け、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実が求められております。

とりわけ、へき地・複式校におかれましては、これまで、豊かな自然環境や小規模校の特性を最大限に活用し、体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に推進していただいております。

このような中、本研究大会においては、「自ら創造的に学び、豊かな心でたくましく郷土を拓く子供の育成」を研究主題に掲げ、児童一人一人の思いや願いを生かした学習指導や、近隣の学校が協力し合いながら豊かな人間形成をはぐくむ集合学習の在り方について、全道各地に発信していただいたことに対しまして、深く敬意を表します。

各学校におきましては、児童一人一人のよさや可能性の一層の伸長を目指し、豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育活動を積極的に展開していただくことを御期待しております。

結びに、北海道へき地・複式教育研究連盟のますますの御発展と会員の皆様の更なる御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

第57回全道へき地複式教育研究大会檜山大会

実行委員長 長政 康



第57回全道へき地複式教育研究大会檜山大会を無事成功裏に終えることができましたことに、檜山大会実行委員会を代表して心からお礼と感謝を申し上げます。

第1日、5町7分科会、歓迎交流会と第2日、開閉会式、基調報告、瀬戸内寂聴氏の講演会

に全道各地よりおよそ800名の教職員並びに関係者の皆様の参加を頂きました。

檜山大会は第7次長期5か年研究推進計画の最終年次に当たり、成果を第8次長期計画へ引き継ぐ意義を持った大会でした。そのため、加盟各校の研究テーマと第7次長計との関連・意識付けを図ること、積み重ねてきた管内大会の成果を踏まえて課題を明確にしつつ取り組むこと、後志・空知はじめこれまでの全道大会の成果から学ぶこと等、組織と研究体制を整え準備を進めて参りました。

へき地複式校の減少等で組織的にも苦しい面はありましたが、プレ大会の昨年頃から統廃合計画の加速・前倒し、補助金等の減額や打ち切りなど一層困難さ、先行きの不透明さが拡大しました。それら乗り越えて大会を成し遂げることができたのは、子どもへの愛情と熱意、近隣校の協力、道へき複連の支えと連携、各町教育委員会、檜山教育局の指導と援助等のお陰です。子どもを思い、へき地複式教育研究の充実・発展を願う多くの人の心が結集しての大会であったと振り返り、感謝に堪えません。

分科会では、各校の条件や特色が生かされ、子どもたちが生き生きと学びに取り組む姿を見ていただけたことと思います。複式の指導過程においても学習内容と児童の実態に照らして工夫がなされ、『いつでも・どこでも・だれでも』できる、を目指してきたへき複連の研究に役立つことができたのではないかと感じております。

檜山大会にご参加の皆様から頂いた貴重なご助言・ご示唆を参考に、へき地複式教育研究の一層の充実発展を図り、これからも予想される困難を乗り越える力として参ります。

終わりになりましたが、檜山大会開催に当たり、北海道教育委員会、管内町教育委員会、教育関係諸機関の皆様のご支援、ご協力を心から感謝申し上げます。ご挨拶といたします。

参加者の声

第1分科会 上ノ国町立湯ノ岱小学校

今年度から複式の学校に勤務することになり、普段からの悩みであった国語科の間接指導のイメージが授業を拝見してつかめたことは大きな収穫でした。また、児童に主体的に学ぶ姿や共に学び合う姿が見られた公開研究会であったと思います。目的をもって文章を読ませることにより、正しく読み取り、自分の考えを根拠をもって表現する児童が育っていることは大変素晴らしいと感じました。

第2分科会 厚沢部町立館小学校

館小学校では算数科を題材に1学年の公開授業と5・6年生の特設授業が開かれました。午後の研究協議では、公開授業から小グループごとに改善策を討論する形で進めました。規模や地域、経験の異なる教員が「へき地・複式」という共通テーマに話し合うことは滅多にありません。授業の支援策はもちろんのこと、学級経営上で大変勉強になることも多く出され、へき地・複式校教員としてどうあるべきかを学ぶことが出来た、有意義な研究会になりました。

第3分科会 乙部町立明和小学校

学習の仕方がしっかり身に付いている子どもたちでした。先生方の日頃からの指導がよくわかりました。5・6年生の授業を中心に参観させていただきましたが、子どもたちは今日の授業をしっかり理解していたと思います。子どもたちが意欲を持って取り組む素晴らしい授業を見せていただきました。研究主題の「学び方がわかり、進んで学習する子どもを目ざして」がしっかりと授業に反映されていました。

第4分科会 せたな町立平田内小学校

多くのアイテムから子どもたちの選択の幅をもたせることが子ども自身の伸びを得られるきっかけになるのではないかと感じました。すばらしい実践だと思えます。学習シートとノートの件はもっ

と伺いたい内容でした。学習を進める上ではシートを、力をつける上ではノートをと、それぞれの良さを意識して扱ってあげたいと思います。学校、PTAが一丸となって本大会の運営を支え、大成功だったと感じました。

第5分科会 せたな町立玉川小学校

子どもたちの授業に取り組む姿勢に素晴らしさを感じました。日頃の先生方のきめ細かいご指導があったものと思います。集会活動でも一生懸命さが伝わってきました。素直な子どもたちが集う素晴らしい学校ですね。

昼食時のイモやカボチャにも地域の人々の温かさを感じました。貴校のますますの発展をご祈念いたします。ありがとうございました。

第6分科会 せたな町立馬場川小学校

特に音楽の授業での子どもたちのきれいな声に感動しました。案内されていたように(手作り楽器もよかったのですが)ボディパーカッションを用いた授業を見てみたかったです。ボディパーカッションを使うことで、子ども同士のふれあいの面や16分音符を両手で刻むなどの活動がスムーズに流れたのでは・・・?とも思いました。楽しい授業を有難うございました。

第7分科会 今金町立種川小学校

子どもたちが主体的に学習に取り組んでおり、日頃の先生方の学級づくり、授業づくりの成果が本授業に表れていたと思います。特に、子どもたちが既習の内容を生かしていたり、自力解決にむけて進んで学ぶ姿が印象的でした。工夫された教材・教具を用いた作業的・体験的な活動も大変勉強になりました。ありがとうございました。

